



醸芳っ子通信

桑折町立醸芳小学校だより
令和5年12月1日 No.35
文責 校長 遠藤 和宏

2023年9月16日
醸芳小学校は 創立
150周年を迎えました

<学校経営の根本精神> こつこつ とことん あきらめない
<今年度の重点目標> 自分から 勇気をもってチャレンジ!

今日から師走です。朝晩だいぶ気温が下がるようになりましたので、健康にはご注意ください。また、4日より個別懇談が始まりますので、よろしくお願いいたします。

学校保健統計調査の結果について

11月28日に発表された「学校保健統計調査」の結果についてお知らせします。

(※文面等は福島民友新聞11月29日掲載のもの)

<その1 肥満傾向について>

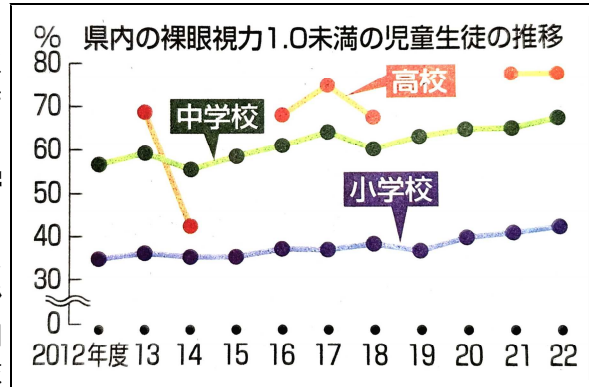
県内で2022年度に肥満傾向にあるとされた子どもの割合が、5～17歳の全年齢で全国平均より高くなったことが28日、文部科学省の学校保健統計調査で分かった。**全年齢で全国平均を上回るのは5年連続。都道府県別では6歳が全国で最も割合が高く、8、12、14歳以外の各年齢も肥満傾向の子どもの割合が全国上位だった。**

年齢	福島県	順位(前年度)	全国平均
6歳	8.97	1(6)	5.62
7	10.27	7(3)	7.63
8	11.92	12(6)	10.13
9	15.78	3(1)	11.41
10	14.99	9(4)	12.48
11	16.16	5(2)	12.25
12	12.47	21(1)	11.43

県内では、東日本大震災と原発事故後、外遊びが制限されるなどした影響から肥満傾向の子どもの増加。近年は**新型コロナウイルスの感染拡大で運動の機会が減る**など、肥満傾向に拍車がかかっていた。

<その2 視力について>

裸眼視力が1.0未満の子どもの割合は、記録に残る1979年度以降、小中学校、高校の全てで過去最多となり、いずれも全国平均を上回った。裸眼1.0未満の本県の児童生徒は、**本年度、小学生42.0%と悪化した**(全国平均は35.88%)。



県教委は、視力の悪化には様々な要因があるとした上で、「**学校や家庭でスマートフォンやデジタル端末を使う機会が年々増えている**ことも要因の一つではないか」と見ている。県教委は、端末の使用時には目を画面から30cm以上離し、適度に休憩を挟むなどの注意を呼びかけている。

<その3 虫歯について>

虫歯のある子どもの割合は、**幼稚園と小学校で過去最少**となった。**全国平均と比べると、園児から高校生までの全てで上回っている**状況が続く。県教委は、「引き続き歯磨きの効果を伝え、徹底するよう呼びかける」とした。

14日、第2回学校保健委員会が開催されますが、その際にも話題に上がると思います。「健康増進・体力向上」は、本校でも重要な課題の一つです。ご家庭としっかり連携を図りながら、健康で明るい子どもの育成に努めてまいります。ご協力をお願いいたします。